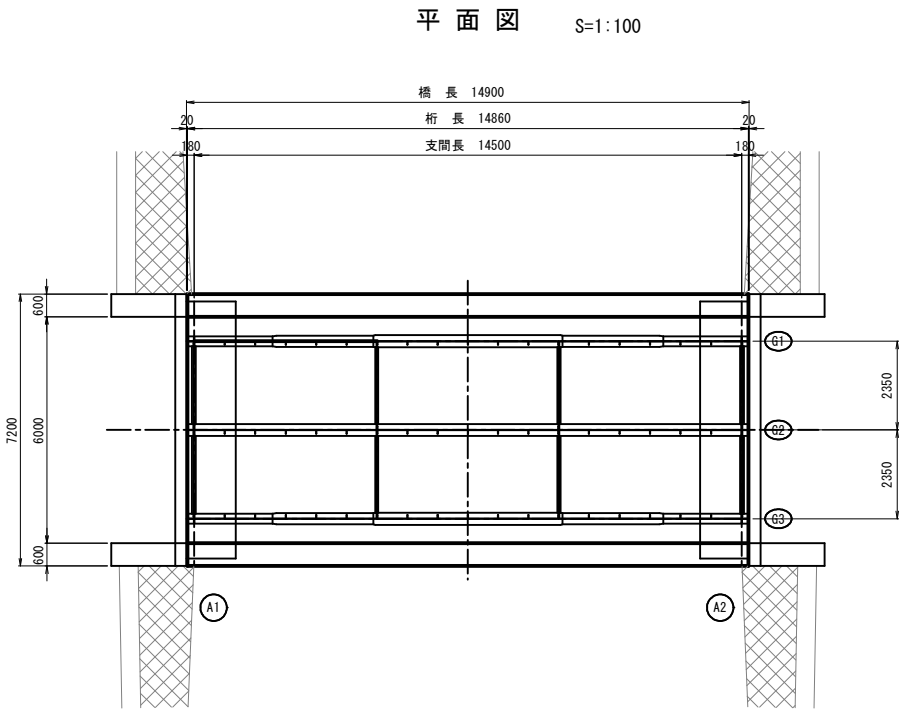
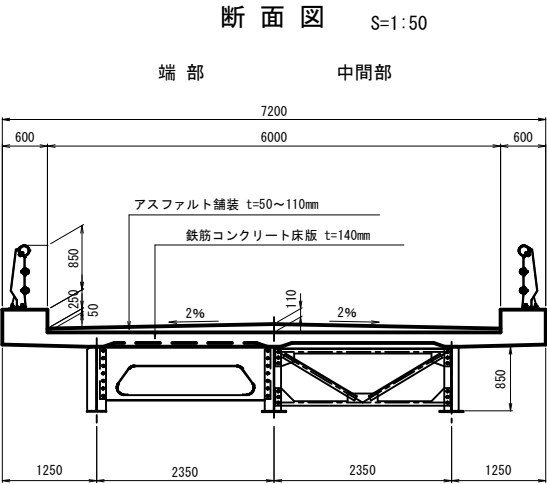
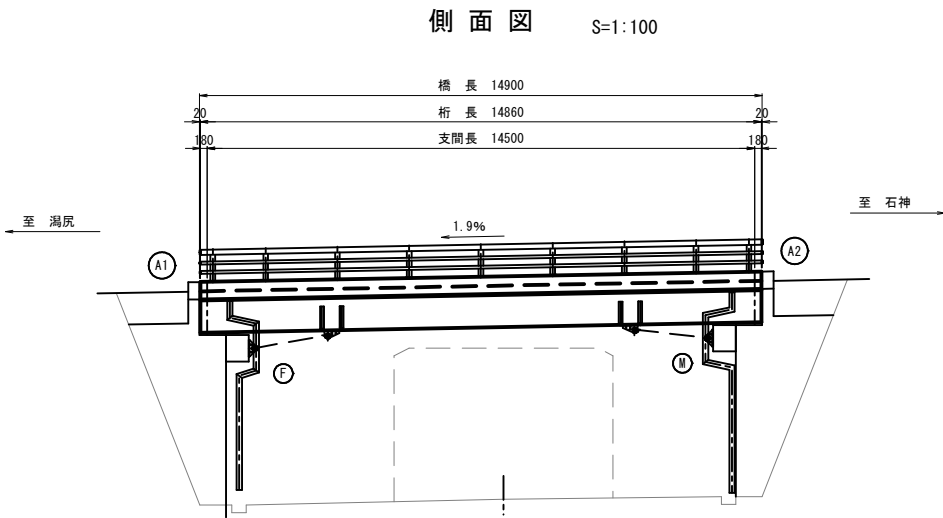


大森山中橋 現況一般図



設計条件

路線名	(主) 田沢湖畔線	
形式	上部工	合成単純鋼板桁橋
	下部工	扶壁式橋台
	基礎工	杭基礎
橋長	14.900m ※現地計測より	
桁長	14.860m ※現地計測より	
支間長	14.500m ※現地計測より	
斜角	$\theta=90^{\circ}00'00''$	
全幅員	7.200 m	
有効幅員	6.000 m	
交差物	道路	
竣工年	昭和41年 (1966年)	

- 注記)
- 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
 - 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 - 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。

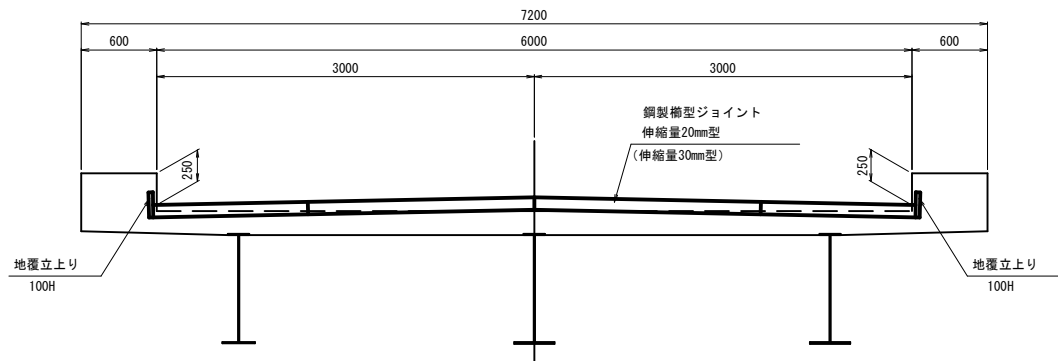
参考図

1/6

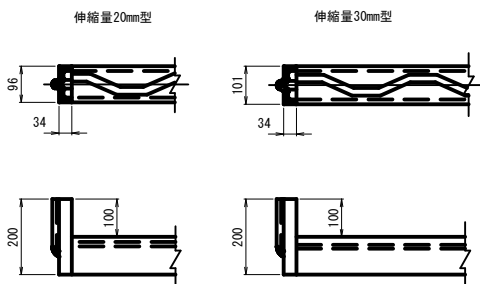
令和 8 年度		工事番号	08-F156-42
路線名	(主) 田沢湖畔線		
河川名			
箇所名	仙北市田沢湖湯(大森山中橋) 他		
工事名	道路メンテナンス工事 (橋梁補修)		
大森山中橋 現況一般図		縮尺	図示
照査	設計	図面番号	
秋 田 県			

大森山中橋 伸縮継手補修図

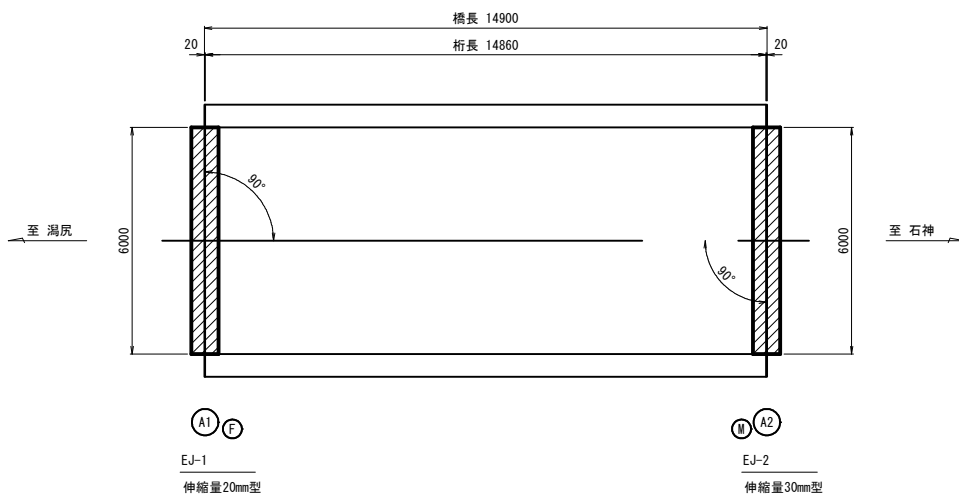
横断面図 S=1:30



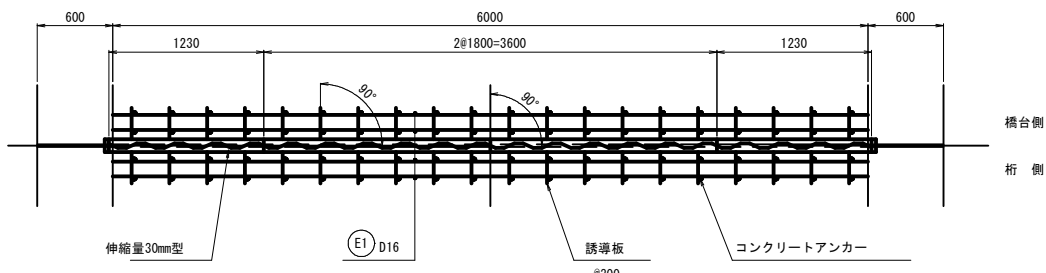
地覆立上り部詳細図 S=1:10



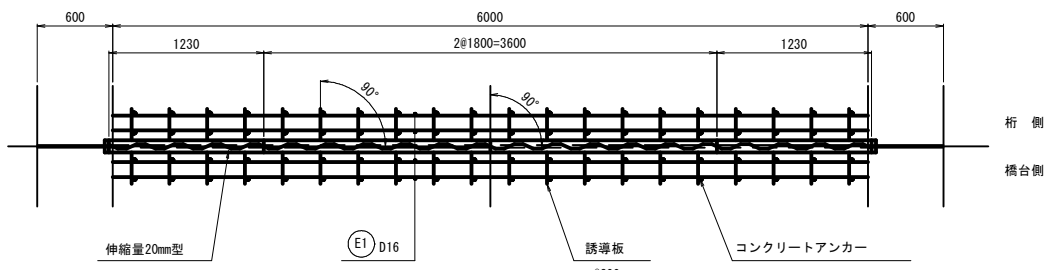
配置図 S=1:100



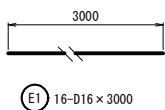
A2 平面図 S=1:30



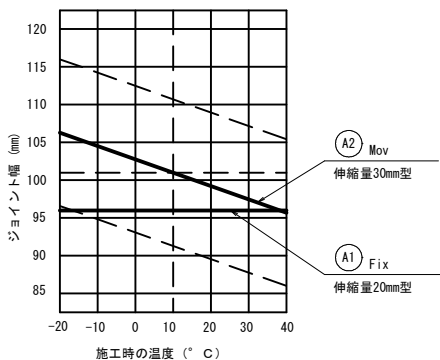
A1 平面図 S=1:30



補強鉄筋加工図



初圧縮グラフ

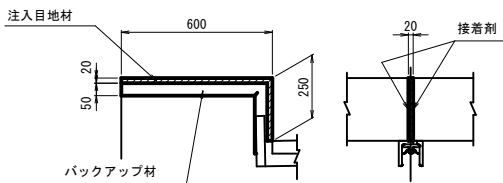


伸縮装置取付工事材料表

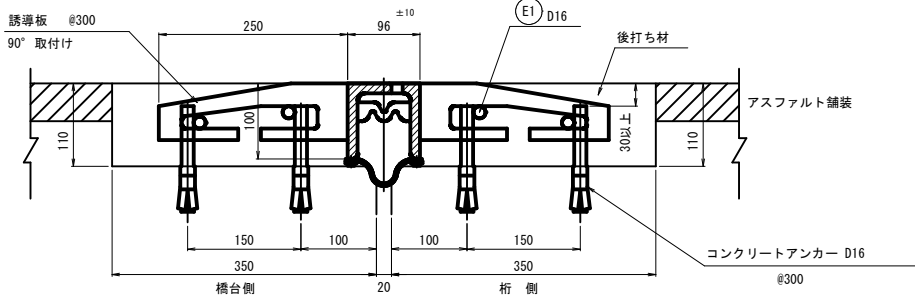
材 料 名	種 類	寸 法	数 量	摘 要
鋼製槽型ジョイント	伸縮量20mm型 誘導板: 90° 取付け	96×100×1800	2 本	合計 6.06 m
		96×100×1230	2 本	地覆立上り付き
	伸縮量30mm型 誘導板: 90° 取付け	101×100×1800	2 本	合計 6.06 m
		101×100×1230	2 本	地覆立上り付き
地覆立上り	伸縮量20mm型用	96×200×34	2 本	
	伸縮量30mm型用	101×200×34	2 本	
後打ち材	超速硬コンクリート	700×110×12000	0.9 m ³	
補強鉄筋	E1	16-D16×3000	75 kg	
コンクリートアンカー	差筋アンカー	D16	160 本	
注入目地材	シール材	20×20×3400	1.4	
接 着 剤	プライマー		500 g	最小ロット
バックアップ材	ウレタンフォーム		3.4	
接 着 剤	クロロブレンゴム		100 g	最小ロット

※ 伸縮装置の切寸寸法及び切断角度は現地実測結果を反映して決定する。

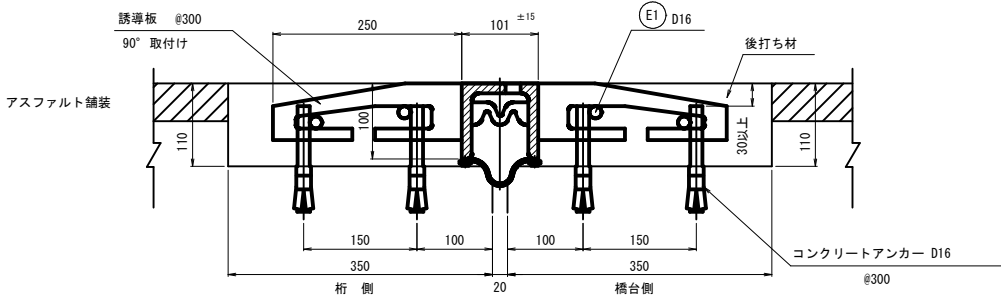
地覆部止水工詳細図 S=1:15



A1 取付断面図 S=1:5
伸縮量20mm型



A2 取付断面図 S=1:5
伸縮量30mm型



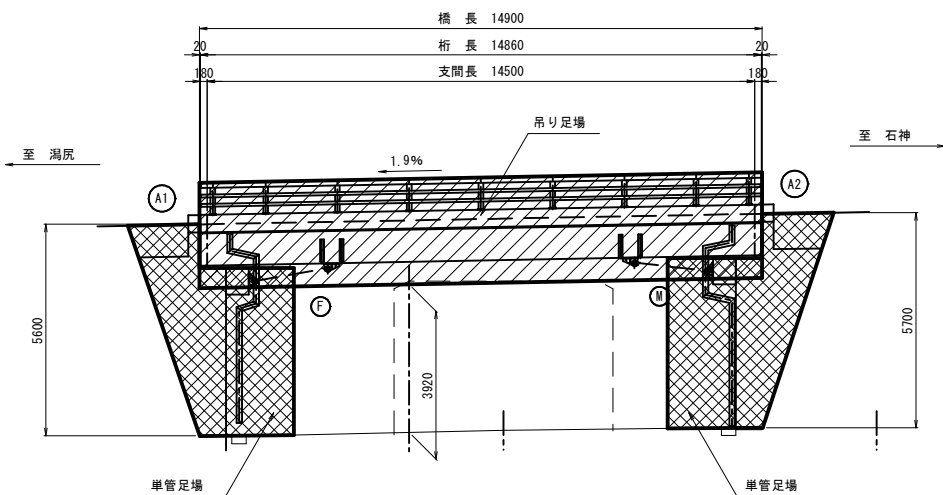
- 注記)
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 3. 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。

参 考 図

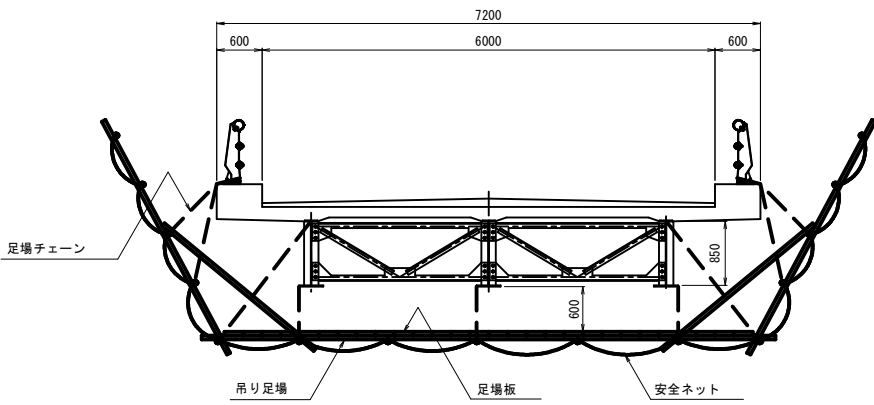
令和 8 年度	工 事 号	08-F156-42
路 線 名	(主) 田沢湖畔線	
河 川 名		
箇 所 名	仙北市田沢湖湯(大森山中橋) 他	
工 事 名	道路メンテナンス工事(橋梁補修)	
大森山中橋 伸縮継手補修図	縮 尺	図 示
照 査	設 計	図 面 番 号
秋 田 県		

大森山中橋 施工計画図（案）

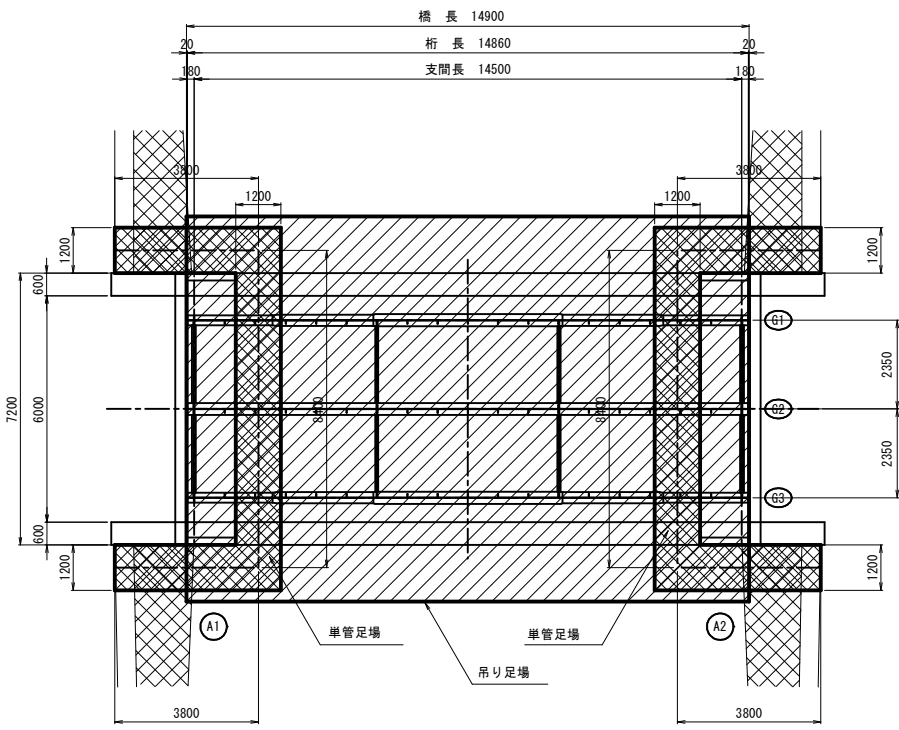
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



注記)
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
4. 吊り足場設置時は、車高3.8m規制を行う。なお、吊り足場設置後、道路路面から足場下面までの高さを計測し、制限を再度確認すること。

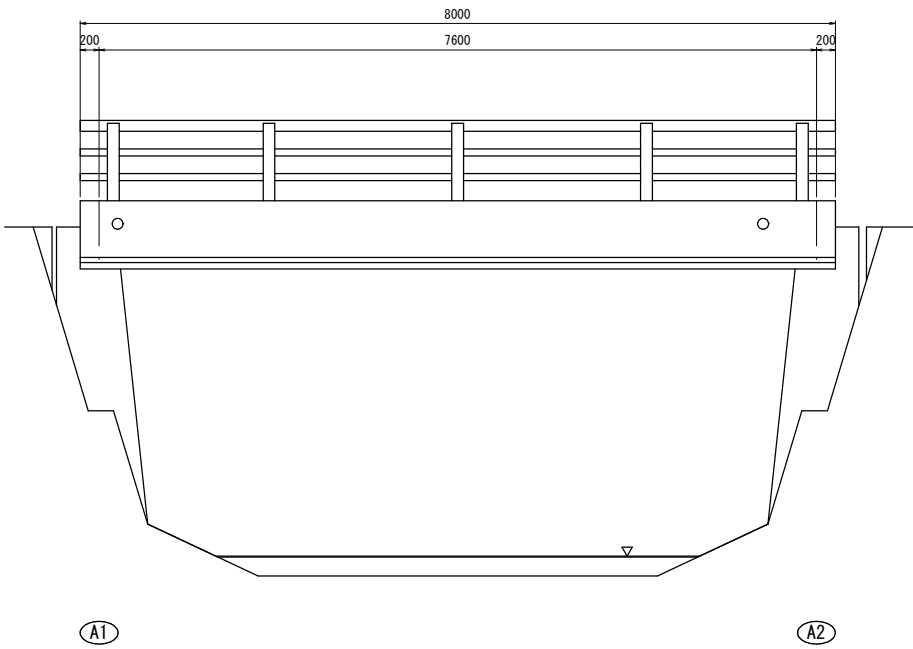
参 考 図

3/6

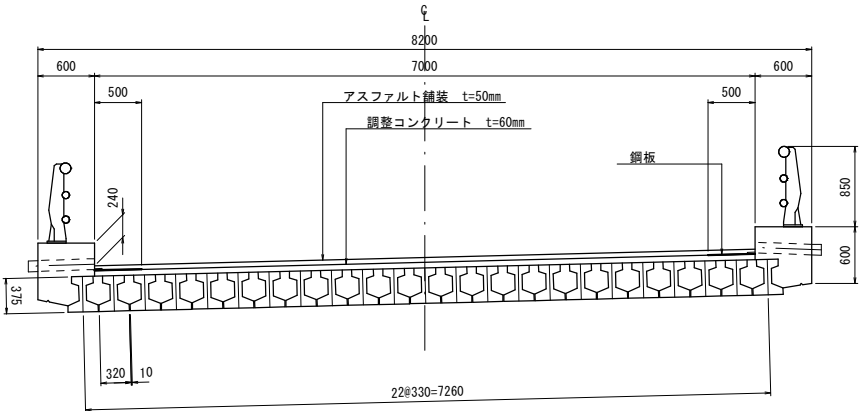
令和 8 年度		工 事 番 号	08-F156-42
路 線 名	(主) 田沢湖畔線		
河 川 名			
箇 所 名	仙北市田沢湖湯(大森山中橋) 他		
工 事 名	道路メンテナンス工事(橋梁補修)		
大森山中橋 施工計画図(案)		縮 尺	図 示
照 査	設 計	図 面 番 号	
秋 田 県			

白浜橋 現況一般図

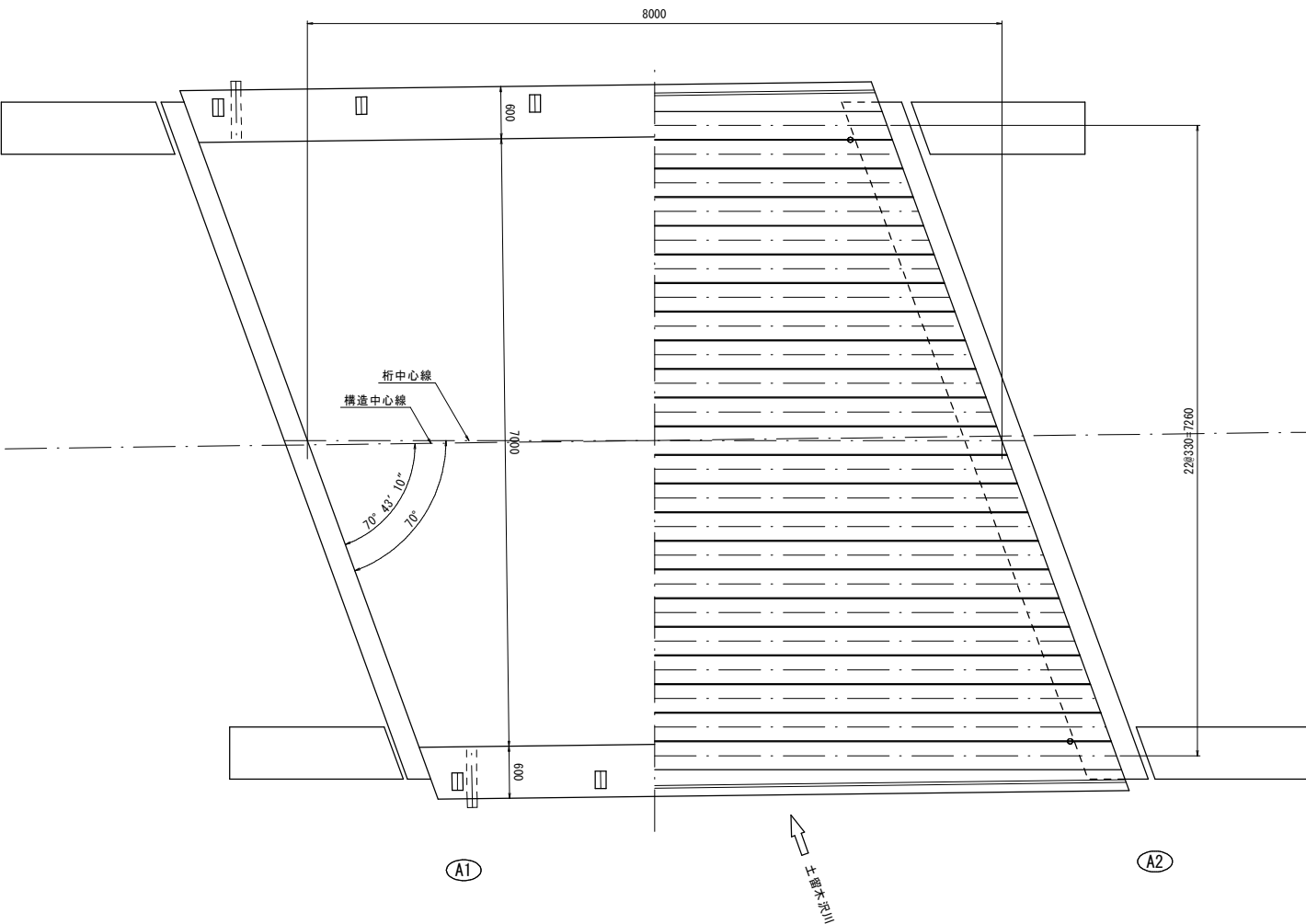
側面図 S=1:40



断面図 S=1:40



平面図 S=1:40



設計条件

橋名	白浜橋 (シラハマバシ)
橋長	L=8.000m
支間長	L=7.600m
幅員	W=8.200m (0.6m+7.0m+0.6m)
上部工形式	単純PCプレテンション1桁
下部工形式	逆T式橋台
基礎工形式	不明
架設年次	昭和41年 (1966年)
適用示方書	昭和39年 道路橋示方書
設計活荷重	TL-14
交差物件	土留木沢川

参考図

4/6

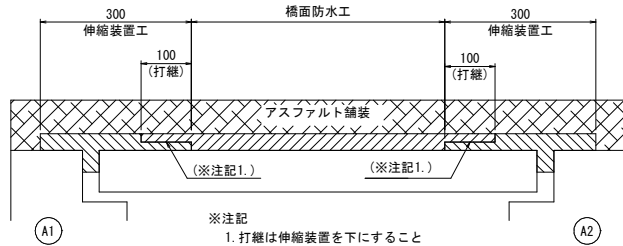
令和 8 年度		工 事 番 号	08-F156-42
路線名	(主) 田沢湖畔線		
河川名			
箇所名	仙北市田沢湖湯(大森山中橋) 他		
工事名	道路メンテナンス工事 (橋梁補修)		
白浜橋 現況一般図		縮 尺	図 示
照査	設計	図面 番号	
秋 田 県			

白浜橋 伸縮装置補修図

伸縮装置及び床版防水の一体化工法

伸縮装置及び床版防水の一体化工法詳細図

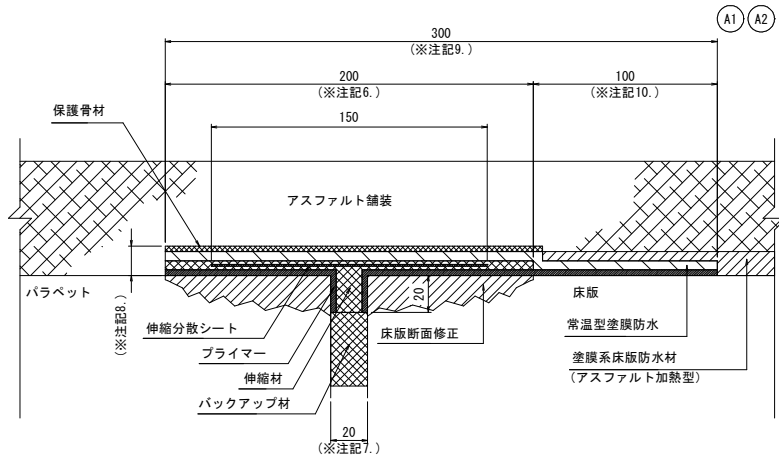
一体化構造図（側面図）（参考図）



一体化構造図詳細

記号	名称	※ 注 記 ※
	伸縮装置工	伸縮材は常温型塗膜防水と一体化する同系材料。 伸縮装置工の範囲（W=300）は常温型塗膜防水材を使用すること
	橋面防水工	橋面防水には、塗膜系床版防水材（アスファルト加熱型） 或いは、常温型塗膜防水材のみ使用可能

伸縮装置工断面図（参考図）



伸縮装置工材料表 <補修> (参考) 1㎡当たり

名 称	材 質	単 位	数 量	備 考
伸縮材	主 剤：ゴムアスファルト乳剤 硬化剤：ウレタン樹脂化合物	kg	1.00	0.25%含む
プライマー	シリコン系化合物	kg	0.058	0.220%含む
伸縮分散シート	アスファルトメッシュシート	m	1.10	0.10%含む
バックアップ材	汎用ウレタンフォーム	m	0.55	0.10%含む
常温型塗膜防水材	主 剤：ゴムアスファルト乳剤 硬化剤：ウレタン樹脂化合物	kg	0.45	0.25%含む
保護骨材	珪砂 4号	kg	0.16	0.10%含む

※伸縮材は常温型塗膜防水と一体化する同系材料。
※常温型塗膜防水材は伸縮装置と一体化する同系材料。
※バックアップ材は2m/本を適宜切断して4mの施工に使用する。

※注記

- 伸縮装置工の数量は、調査結果を元に算出している。施工に際しては現場状況に合わせて適宜変更のこと
 - 伸縮性及び止水性を有する処理を目的とするため、伸縮性を確認できる材料を選定のこと
下記に参考仕様を示す
- | | |
|-------|---------------------------------|
| 一体化 | 遊間部止水層が床版防水層と一体化した伸縮装置として機能すること |
| 伸縮追従性 | ±4mm繰り返して剥離・破損がないこと
6000回 |
| | ±10mm繰り返して剥離・破損がないこと
15回 |
- 伸縮剤は、現場条件への対応性が良好なことから、ウレタン系ゴムアスファルト乳剤を選定している
 - 伸縮剤との一体化のため、常温型塗膜防水の材料にはウレタン系ゴムアスファルト乳剤を必ず使用すること
 - 床版断面修正の適用範囲はw200、t=30mmまでとする
 - 設置面（W=200）の遊間両端のレベル差は0に不陸修正すること
 - 既設遊間幅が適用範囲外の場合は、適用範囲まで遊間幅を調整すること ※適用範囲：20mm-10、+4mm
 - 断面図の厚み(t)は視認性を優先し、正確な数値(t)を表さないことに注意すること
 - W=300に使用する防水材は、常温型塗膜系防水材を指定とする
 - 打継は伸縮装置を下にすること、
打継部の常温型塗膜防水の上面（打継面）は保護骨材およびプライマーは塗布しないこと。

橋面防水工詳細図（参考図）

防水材適用表

種 類	適 応
常温型塗膜防水	可（推奨）
塗膜系床版防水材（アスファルト加熱型）	可
シート系防水	不可
塗膜系ゴム溶剤型	不可
塗膜系反応樹脂型	不可

※上記に記載の無い防水材は適用不可。

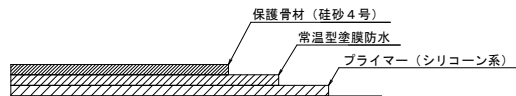
橋面防水工材料表<補修>

名 称	材 質	単 位	数 量	備 考
防水材	当該製品の仕様に従うこと			
プライマー				
保護骨材				

常温型塗膜防水材

名 称	材 質	単 位	数 量	備 考
常温型塗膜防水材	主 剤：ゴムアスファルト乳剤 硬化剤：ウレタン樹脂化合物	kg	1.50	0.25%含む
プライマー	シリコン系化合物	kg	0.18	0.220%含む
保護骨材	珪砂 4号	kg	0.77	0.10%含む

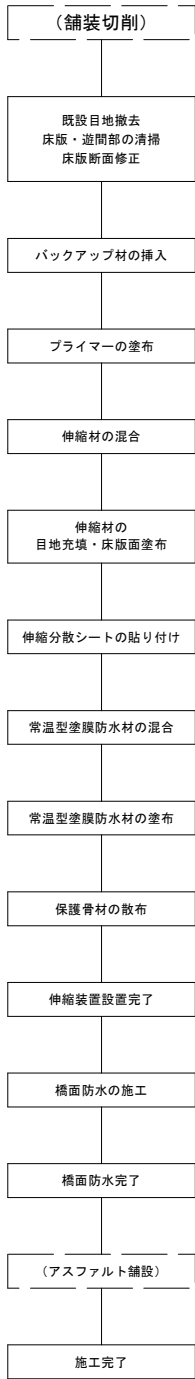
常温型塗膜防水層構成図



※注記

橋面防水層の端部処理は別途排水計画に基づき設計した排水資材を選定しその配置を定めること。

施工フロー図



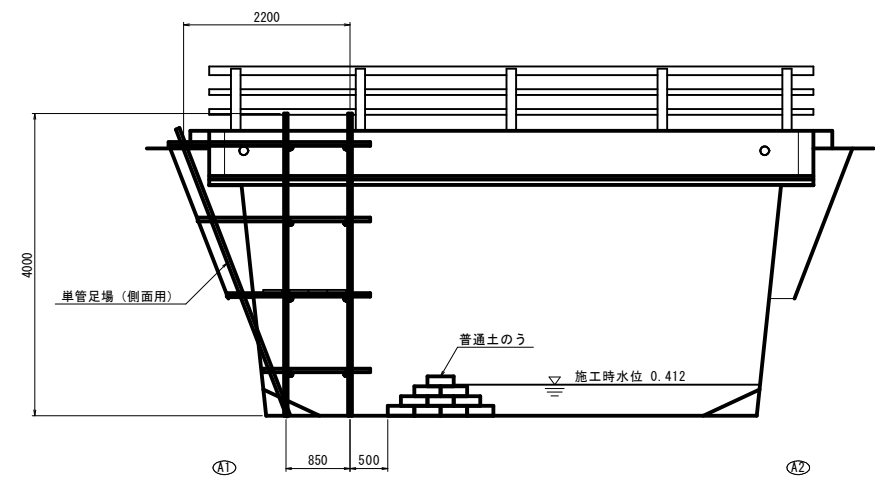
参 考 図

令和 8 年度		工 事 番 号	08-F156-42	
路 線 名	(主) 田沢湖畔線			
河 川 名				
箇 所 名				
仙北市田沢湖潟(大森山中橋) 他				
工 事 名	道路メンテナンス工事 (橋梁補修)			
白浜橋 伸縮装置補修図		縮 尺	図 示	
照査	設計	図面 番号		
秋 田 県				

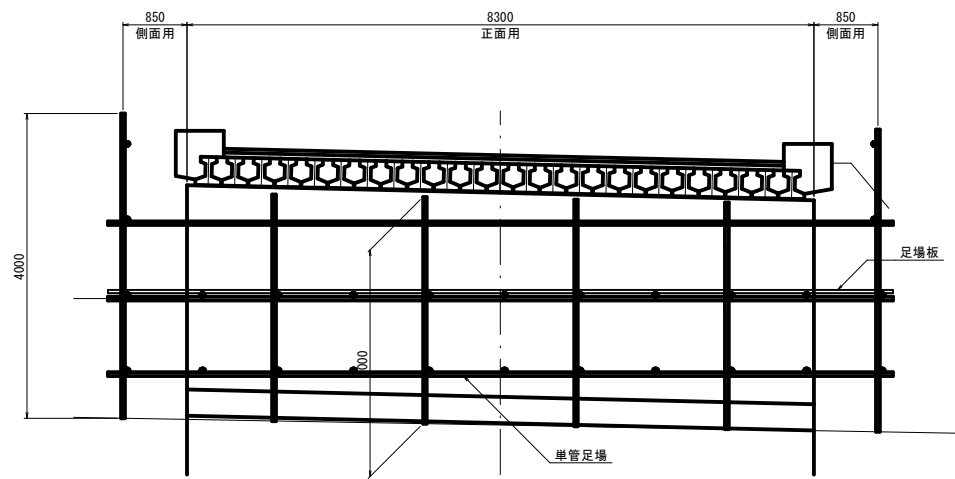
※施工前、各工種とも現地詳細調査を実施し施工寸法及び数量を確定すること。

白浜橋 施工計画図(案)

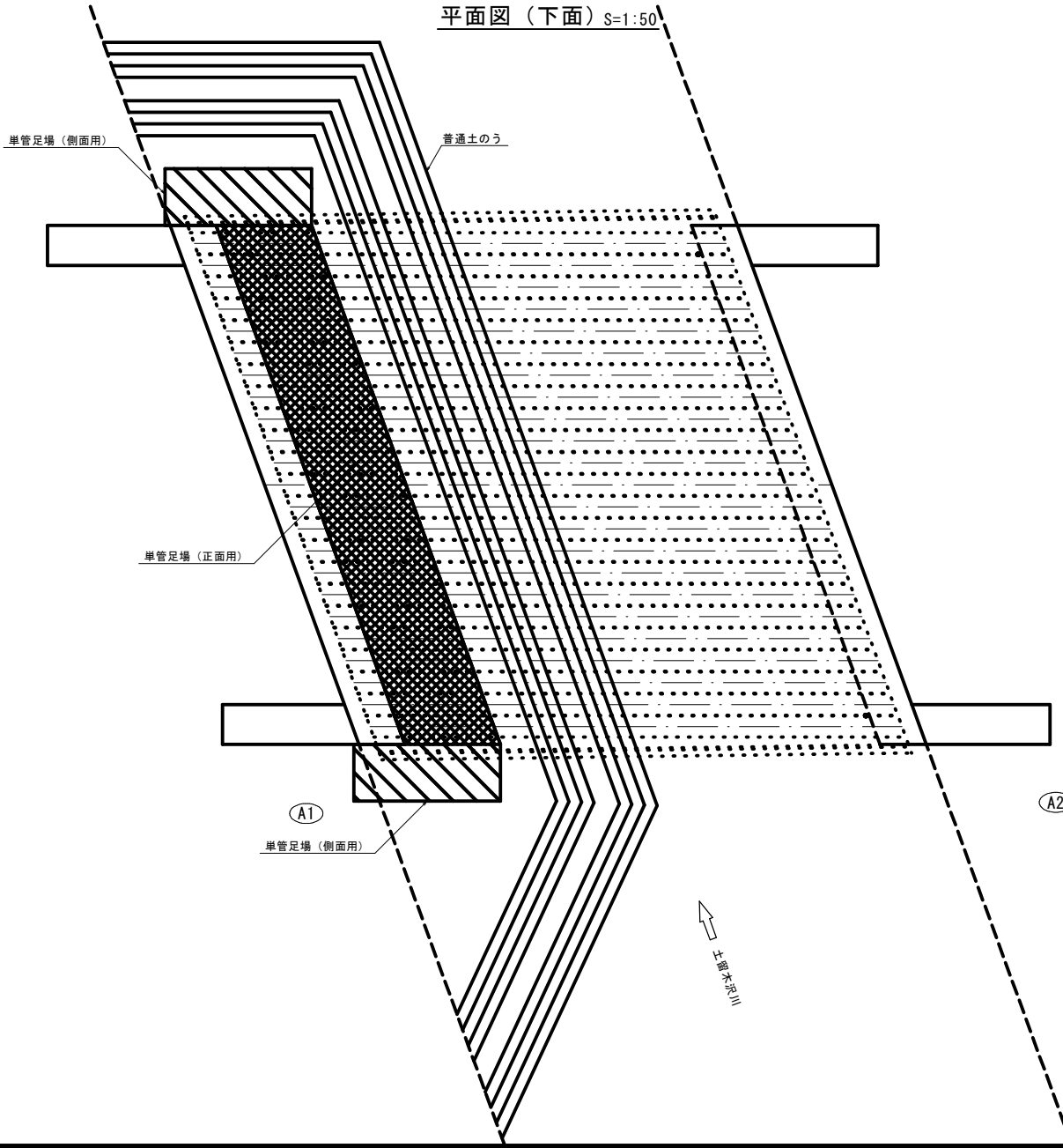
側面図 S=1:50



正面図 S=1:50



平面図 (下面) S=1:50



注) A2橋台側補修時もA1側同様に仮設工を配置のうえ実施する。
ただし、施工時水位に配慮し、片側ずつの施工とする。

参考図

6/6

令和 8 年度		工 事 号	08-F156-42
路 線 名	(主) 田沢湖畔線		
河 川 名			
箇 所 名	仙北市田沢湖湯(大森山中橋) 他		
工 事 名	道路メンテナンス工事 (橋梁補修)		
白浜橋 施工計画図(案)		縮 尺	図示
照査	設計	図面 番号	
秋 田 県			